

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		国語国文学 I Japanese Philology and Literature I			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 佐野 宏		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
日本文学における代表的な古典から、とくに萬葉集を講読する。萬葉集全二十巻を巻毎に取り上げつつ、和歌を抄出して講読する。各巻の概要や部立てのあり方、歌学における萬葉歌の享受史に触れながら、日本古典研究の基礎的な知識の習得を目的とする。ゆったりと萬葉歌の鑑賞を行う予定である。									
【到達目標】									
萬葉集についての基礎的な知識を習得し、和歌史研究のオーソドクスな観点と方法について説明できること。									
【授業計画と内容】									
<ol style="list-style-type: none"> 1 萬葉集について 2 萬葉集の注釈書類概説 3 萬葉集の受容・研究史概説 4 萬葉集の受容・研究史概説 5 萬葉集の受容・研究史概説 6 萬葉集の受容・研究史概説 7 初期萬葉の世界 8 和歌表現の標準的な枠組みについて 9 和歌表現の標準的な枠組みについて 10 和歌表現の標準的な枠組みについて 11 四季分類の意義について 12 四季分類の意義について 13 組織される歌ということ(編纂論について) 14 確認試験 <p>各項目について、概説しながら読み進める。扱う項目に関係する歌数によって、回数は変動するため、テーマを拡充して講義することがある。レポート課題に直結するトピックを取り上げるが、受講生の理解度に応じて、項目を変更したり、解説が不十分と感じたときにはより多くの類例によって再説することがある。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
講義期間の最終日に基礎的な事項の確認試験を行う(60%)。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度(40%)を総合的に加味して評価する。									
【教科書】									
井手至、毛利正守『新校注 萬葉集』(和泉書院) ISBN:978-4757604902 坂本信幸、毛利正守『萬葉事始』(和泉書院) ISBN:978-4-87088-728-2									
----- 国語国文学 I (2)へ続く -----									

国語国文学Ⅰ(2)

受講者が上記のテキストを持参しているものとして講義を行う。

【参考書等】

(参考書)

小島憲之他『新編日本古典文学全集 萬葉集』(小学館) ISBN:978-4096580066

佐竹昭広他『新日本古典文学大系 萬葉集』(岩波書店)

乾安代『日本古典文学史』(双文社出版) ISBN:978-4881640425

『日本古典文学史』(双文社出版)は、総合人間学部では2年次配当の「日本語学文献講読論 A・B」(日本語史概論)で各時代の資料概説にも使用している。各時代の背景や状況がコンパクトにまとまっている。受講生の多くにとっては常識に属するであろうけれども、知識の確認には便利である。

【授業外学修(予習・復習)等】

プリントを配付するが具体的な語釈や文法事項については、各自で注釈書類、参考文献を一読しておくこと。

【その他(オフィスアワー等)】

木曜日4限をオフィスアワーとする。会議等で不在の場合があるので、必ず事前に確認をすること。

【主要授業科目(学部・学科名)】